



あす3・16「広宣流布記念の日」

# 大いなる理想へ 進め

香港のヴィクトリア湾に描かれた白い航跡。1995年（平成7年）11月、九龍半島側から、対岸の香港島の摩天楼を望みつつ、池田名誉会長がシャッターを切った。  
穏やかな水面を切り裂き、しづき上げる船は、安寧を捨てて、

あえて挑戦に打って出る青年のようでもある。  
名誉会長は、かつて綴った。「香港の歴史は『人間が必死で努力すれば、不可能を可能にできる』という証明の歴史である」  
あす3月16日は「広宣流布記念

の日」。58年（昭和33年）のこの日、戸田城聖第2代会長のもとに、名誉会長をはじめ6000人の青年が集い、「広宣流布」という平和の大理想に人生を捧げることが誓った。この永遠の原点の日から、さあ、我らも船出しよう！

「3・16」は、  
弟子が決然と立つ節だ。  
常に出発だ。  
常に挑戦だ。  
常に団結だ。  
常に前進だ。  
常に破折だ。  
永遠に勝利だ。  
汝自身が、師と共に

「広宣流布の大願」を  
起こすことである。  
理想が大きいほど  
困難の峰もまた大きい。  
それを恐れていては  
永久の前には進めない。  
夢は夢のままである。  
人生はまず、



ベネズエラの青年メンバーを激励する池田名誉会長夫妻（2007年3月）。「大切なのは、勇気です。仲よき団結です」「絶対に負けてはいけないよ。朗らかに！ 朗らかに進んでください！」と

“どんな困難も乗り越えてみせる”  
“小さな自分の力を破ってみせる”  
“という気概をもつことだ。”  
そこから一切が開けていく。  
「限界を破ろう」。  
そう決めたとき、  
じつは自分の「心の限界」は  
すでに一歩、破れているのだ。

大富豪の巨万の富も、  
「青春」の光の前には色あせる。  
その人生最大の富を  
諸君はもっている。  
どう使うか、  
どう何十倍、何百倍の  
価値を生ぜしめるか、  
決めるのは自分自身である。

青春には翼がある。  
嵐の海をも過り、  
天空の奥まで翔ける。  
青空には果てがない。  
青春の力にも限りがない。  
青空は世界を包む。  
青年の気概には  
全世界さえも狭い。  
たとえ雲厚くとも、  
天の高みには  
「永遠の青空」が輝いている。